

# 質 問 回 答

2022 年 9 月 12 日

「(案件名) カメルーン国ヤウンデ都市圏の都市交通円滑化に係る情報収集・確認調査」

(公示日:2022 年 8 月 31 日/公示番号:22a00417)について、質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P6 第 2 章第 2 条「調査の背景・経緯」	「我が国に対しバス供与にかかる供与を始めとする PMUY 実現化支援が期待されている」とあるのは、ヤウンデ市から実際に要請があったという理解でよろしいでしょうか。	ヤウンデ市長技術顧問から口頭での要請がありました。(なお、PPP を推進するフランス開発庁(AFD)からはバス運営に参入できる日本企業はいないか、との質問がありました。)
2	P14 第 3 章 2. 業務実施上の条件 (3)現地再委託	現地再委託として交通量調査が認められていますが、本見積もりとなっています。企画競争説明書からは調査内容の特定が難しく、コンサルタントの想定次第で価格差が大きくなりますが、異なる条件で出された価格を比較評価するのは難しいのではないのでしょうか。また、現時点で想定する調査内容と現地状況を把握したあとの調査内容では、大きく異なる可能性があると考えております。 定額(1000 万円など)を計上して、現地調査において調査内容を特定し、必要に応じて契約変更を行う、あるいは、別見積もりとしていただけないのでしょうか。	現地交通量調査費 200 万円の定額計上とします。公開・配布資料から推定される既存データや、現時点で想定されている案件の意義・効果を説明するためのデータ収集を想定して、より経済的な調査手法とコストをご提案ください。
3	P15 第 3 章 4. (3)定額計上 「現地通訳」について	定額計上する現地備上通訳としては、ある程度交通セクターを知る候補者の紹介が可能でしょうか	実施中有償道路案件やドゥアラ交通基礎調査の調査団を担当した通訳が紹介可能です。2011 年より現在に至るまで JICA 案件の通訳を委託しており、AU のコンサルタントとしてアジスアベバのトラム案件の通訳をした経験を持ちます。
4	P15 第 3 章 4. (3)定額計上 「現地通訳」について	現地通訳の備上費の定額 558,000 円について、通訳何名に対して 558,000 円という想定になりますでしょうか。	1 名 2 か月で積算しています。

以上